

### 第三者評価結果

事業所名：グローバルキッズ綱島SST保育園

#### A-1 保育内容

A-1-(1) 全体的な計画の作成	第三者評価結果
<p>A-1-(1)-①</p> <p>【A1】 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>全体的な計画は園の保育理念、保育方針に基づき、園長と各クラスリーダー等の参加により、園の状況や子どもの発達過程を踏まえて作成しています。子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じたものとなっています。計画案は家庭との緊密な連携のもとで子どもの状況や発達過程に応じ、養護と教育を一体的に行うことを特性としています。職員会議において職員と確認し、最終決定しています。毎年3月に各クラスで振り返り、それを基に全体的な計画の評価・振り返りを行って次年度の全体的な計画に生かしています。</p>	
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	第三者評価結果
<p>A-1-(2)-①</p> <p>【A2】 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育室内の温度・湿度計は各クラスに配置して調整し、常に子どもにとって心地よい環境に設定しています。また、換気や部屋の明るさ、音や声の大きさなどに配慮し、子どもの心身の健康と情緒の安定が図れるように保育環境を整えています。おもちゃは子どもの午睡中に毎日消毒して、午後はおもちゃを替えています。午睡用寝具は押し入れにすのこを敷いて保管するなど衛生管理を行っています。マットや子どもが好きなキャラクターのソファを置き、小さなコーナーを作るなど、一人ひとりの子どもがくつろいだり、落ち着ける場所の工夫をしています。食事や睡眠時の子どもの動線は、常にクラスミーティングで話し合い、最適な環境になるようにしています。手洗い場は決まった職員が清掃して清潔に管理しています。</p>	
<p>A-1-(2)-②</p> <p>【A3】 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもの成長と発達について毎月話し合いを行い、一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、職員間で共通理解を深めています。保育所保育指針の読み合わせをし、丁寧な保育を実践しています。子どもの愛着の土台を培う為にも、子どもの欲求を受け止め、一人ひとりの気持ちに寄り添う保育を行っています。「これから散歩に行くから、その前にトイレに行こうね。」と、先の楽しみ事を伝えるなど、見通しを持った声かけをしています。散歩なども、子どもがどうしても行きたくなければ無理強いせず、園で遊ぶなど子どもの気持ちを大切にしています。小規模園のため職員同士の連携も良く、密な情報共有によりクラスの垣根を取り除いて子どもを援助しています。大きな声や否定する言葉、乱暴な言葉などを使用しないようにし、常に優しい対応をしています。</p>	
<p>A-1-(2)-③</p> <p>【A4】 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>食事や排せつ、睡眠、着脱、清潔などの基本的な生活習慣は一人ひとりの子どもの発達に合わせて身につけられるように配慮しています。生活習慣の取得は急がせることなく、子どもに分かりやすい方法・やり方などを示したり、自分で出来た達成感を味わえるようにするなど、一人ひとりの子どもにとって適切な時期に援助しています。トイレトレーニングも子どもの気持ちを尊重し、トイレに座ることやパンツを履くのが嫌な時には、無理強いせず、子どものペースで進めています。1歳児は主に職員から声をかけて、身の回りのことをやろうとする、2歳児は職員に見守られながら身の回りのことを3月までに出来るようにすること、が目標となっていますが、個々の成長や感情も考慮し、家庭とも情報を共有しながら援助しています。</p>	

<p>【A5】 A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 子どもが自由に遊びを選択できるように、玩具は子どもの手に取りやすい場所に置いてあります。室内では動と静の場所を作って、子どもが自ら選んで遊べるような環境を整備しています。一人でじっくり取り組めるような環境や、行事で使うものを友だちと一緒に制作する機会などを提供しています。午前中や夕方に、公園に行ったり園庭で遊べる時間を十分に設けています。散歩の時は地域の人に挨拶をしたり、交通ルールを学ぶ機会になっています。公園内でも安全に遊べるように約束事を伝え、ルールやマナーを学んでいます。戸外では、落ち葉やどんぐり拾いを楽しむなど、自然と触れ合っています。系列園との交流や給食業者の方とも日常的に接する機会があります。2歳児は2~3人で、手拭きタオルを配る、散歩のお茶を持って行く、机を拭く等の当番活動をしています。当番ではなくてもやりたい子どもがいたら一緒に出来るようにしています。</p>	
<p>【A6】 A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 0歳児は、発達が著しく個人差が大きい時期でもあるので一人ひとりの子どもの状況に応じた保育を基本としています。特定の保育者との応答的な関わりによって、生理的な欲求の充足や情緒の安定を図りながら、愛着関係を深めています。今年度は長時間保育の子どもが多いため、疲れや体調の変化に留意して体の負担にならないように休息をしっかりとるようにしています。中には夕方寝る子どももいます。子どもの身体的な発達に応じて、保育室内の危険を排除しながら日々保育環境の見直しを行っています。連絡帳アプリや0歳児面談、離乳食面談、送迎時の保護者との関わりなどを通じて、家庭との連携を密にし、保護者との信頼関係を構築しながら保育を行っています。</p>	
<p>【A7】 A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 子どもの発達の状況を踏まえ、一人ひとりの子どもの育ちに合わせて、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重しています。例えば着替えの時に「今日のお着替えの服は何色?」「着替え終わったら何をする?」など着替えに対する子どもの意欲を引き出すような声かけをしています。子どもの目線に合わせた玩具の配置をし、子どもが自発的に遊べるようにしています。毎日の散歩や公園で探索活動を楽しんでいます。友だちとの関わりで、言葉でうまく伝えられない時には職員が代弁したり仲立ちをしています。少しずつ自分の気持ちを伝えられるようになると、けんかをしても職員が見守っている間に解決していることもあります。子ども一人ひとりにあった対応や先を見通した対応を職員間で話し合っています。</p>	
<p>【A8】 A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	c
<p>&lt;コメント&gt; 0~2歳児施設のため、対象児がいません。</p>	
<p>【A9】 A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 障害のある子どもの保育は、一人ひとりの子どもの発達過程や障害の状態を把握し、生活全般に個別対応し、視覚を通して生活できるように配慮しています。生活の流れを1枚ずつのカードにして、言葉だけでなく視覚からも流れが分かるように工夫しています。個別の支援年間計画に基づいて、子どもの発達状況や課題などについて保護者や療育センターと密に連絡を取りながら情報共有し、共通認識を持つようにしています。現在は障害のある子どもは在籍していませんが、体制職員は障害のある子どもの保育に関して必要な知識や情報を得るため障害児保育研修を受講し、いつでも対応ができるようにしています。</p>	

<p>【A10】 A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>a</p>
<p>&lt;コメント&gt; それぞれの子どもによって在園時間が異なり、長時間にわたる保育を考慮した環境を整備しています。全体的な計画や各指導計画には長時間にわたる保育について、一日の疲れや保護者を待つ気持ちを受け止め、温かい対応を行うことや、体調管理、伝達事項の引き継ぎ、異年齢の合同保育での安全管理などが記されています。長時間にわたる保育では、子どもがくつろいで安心して心地よく過ごすことできるように配慮しています。動と静のバランスを考えた環境設定をしており、一日を通して場面設定を変えたり、玩具も午前と午後では変えています。個々の子どもの生活リズムや体調に応じて活動と休息がバランスよく取れるようにしています。職員会議や業務連絡ノート、健康観察表などで引き継ぎを確実にいき、子どもや保護者が不安を抱くことが無いようにしています。お迎えが19時までの子どもには補食、19時以降の子どもには夕食の提供があります。</p>	
<p>【A11】 A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。</p>	<p>c</p>
<p>&lt;コメント&gt; 0～2歳児施設のため、対象児がいません。</p>	
<p>A-1-(3) 健康管理</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>【A12】 A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。</p>	<p>a</p>
<p>&lt;コメント&gt; 年間保健計画を立てて、計画に沿って手洗い指導などを行っています。子どもの健康管理に関する「保健衛生マニュアル」を整備し、マニュアルに基づいて子どもの心身の健康状態を把握しています。保育中に37.5度以上の発熱や嘔吐、下痢などの体調不良が見られた時は保護者に連絡し、その後の様子を確認しています。怪我については保護者に連絡するとともに写真をとって記録に残し、状況によっては受診します。毎年、乳幼児突然死症候群（SIDS）に関する園内研修を行っています。午睡中は午睡タイマーを設置して、0歳児は5分間隔、1～2歳児は10分間隔でこまめに子どもの側まで行き、うつぶせ寝直しのほか、呼吸、顔色、熱、汗などをチェックして睡眠チェック表に記録しています。感染症に関しては、園内の感染状況をアプリのお知らせ配信でリアルタイム配信し、保護者と共有しています。感染症状況は園内で掲示もしています。</p>	
<p>【A13】 A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。</p>	<p>a</p>
<p>&lt;コメント&gt; 年に2回、嘱託医による内科健診・歯科健診を行っています。健康管理表に診断結果を記入して保護者に渡し、確認印をもらっています。健康管理表には予防接種の記録欄もあり、予防接種を受けた時には保護者に記入してもらっています。毎月身長・体重の測定を行い、児童票に記入し、アプリを通して保護者に伝えています。食後には必ずお茶を飲んで、口の中に食べかすが残らないように伝えています。虫歯予防については、保育の中で歯磨き指導の歌を歌いながら、折り紙で作った歯ブラシを使って歯磨き指導をしています。2歳の1月からうがい指導をしています。自分の鼻水に気付けるような声かけをしたり、年齢に応じて自分の健康に興味関心を持てるような働きかけをしています。</p>	
<p>【A14】 A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。</p>	<p>a</p>
<p>&lt;コメント&gt; 未食・アレルギー除去食の対象児については、入園前の面談で確認をしています。毎月、調理担当職員と担任、園長、保護者とアレルギー面談をし、詳細に情報を確認、把握しています。対象児についての情報は全職員が把握し、誤食防止を徹底するため、役割を明確にしています。提供する食事の確認は必ず複数名で、口頭及び目視で行っています。分かりやすくトレイの色を変え、他の子どもと少し離れ、職員が横について食事をします。他児の食べ残しには細心の注意を払い、机や床の清掃や、衣類への食べ残しの付着有無の確認と着替えなど、誤食防止の対応を徹底しています。今年度はアレルギー疾患の子どもはいませんが、いつでも対応できるようにアレルギー研修を毎年受講しています。</p>	

A-1-(4) 食事	第三者評価結果
【A15】 A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>食に関する豊かな経験が出来るように「食育年間計画」を立てて取り組んでいます。4月は給食の先生を覚えてもらうことから始めています。ナスやオクラの夏野菜をプランターで栽培し、子どもたちが水やりをして育て、収穫しています。とうもろこしは0歳児は触って感触を確かめ、1~2歳児は皮むきをしています。皮むきをしたとうもろこしが給食に出されると子どもたちは大喜びです。給食で使う大きな冬瓜を皆で触れてみる体験をしています。クッキングではスイートポテト作りやお月見だんご作り、クリスマスケーキのデコレーションをしています。スイートポテト作りでは、1歳児がサツマイモを洗い、2歳児がゆでたサツマイモをつぶして砂糖を加え成形します。そして給食室で焼いてもらいおやつとして食べています。親子クッキングではカレー作りにも挑戦しています。食器は陶器を使用しています。</p>	
【A16】 A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>食事は冷凍食品は使用せずに、旬のものや季節感のある食材を使い、行事食を提供するなど季節感のある献立となっています。献立は法人で作成していますが、食材の発注や調理は園で行っています。ハンバーグをウサギの形にするなど園独自の工夫をし、子どもたちに大人気です。カレーのルーも手作りで、子どもたちが食べやすいように野菜の切り方にも工夫しています。毎日、調理職員は各クラスの食事の様子を見に行き、子どもたちと会話をしています。毎日、残食量、喫食量を記録し、毎月開催の給食会議で検討しています。保育室の隣が給食室で、扉の上部のガラス越しに中が見られるので、職員に抱っこされながら、中を見ている子どももいます。給食マニュアルに沿って衛生管理を行っています。</p>	

## A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭と緊密な連携	第三者評価結果
【A17】 A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎日連絡帳アプリで、家庭での様子、保育園での様子を記録して伝え合い、送迎の際のコミュニケーションで日常的な情報交換をしています。保育参観や季節の行事、日々の保育を保護者が見る機会を設けています。保育参観はいつでも受け付けていますが、期間を決めたほうが保護者も参加しやすいのではないかと検討中です。ハロウィンでは夕方子どもたちが仮装して近所を回り、最後に園長からおやつをもらっています。ハロウィンやクリスマス会で、保護者は全員参加し、親子写真を撮っています。様々な機会を活用して保護者とも子どもの成長を共有できるようにしています。懇談会は年2回開催し、日々の保育の様子や出来事、運営委員会の内容などを伝え、保護者の意見を聞いています。保護者との面談の際は内容を記録しています。</p>	
A-2-(2) 保護者等の支援	第三者評価結果
【A18】 A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもの送迎時には、「今日はこんなことで遊んでいましたよ。」など、子どものその日のエピソードや気づいたことなどを保護者に伝えるようにしています。日々のコミュニケーションの積み重ねで、保護者との信頼関係を築くように心掛け、保護者が安心して子どもを園に通わせる事が出来るようにしています。年2回個別面談の機会があります。気になることや相談など、また、担任に言いづらいことは園長や法人に相談できるようになっています。電話も受け付けています。相談内容は適切に記録し、必要に応じて関係職員で共通理解を図るようにしています。相談を受けた職員が答えられない内容の場合は即答を避け、園長に相談し、助言を受けられる体制となっています。</p>	
【A19】 A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように保護者や子どもの様子に細心の注意を払っています。登園時には保護者に子どもの様子を聞き、視診で、子どもの表情や顔色、機嫌の観察、発疹、打ち身、傷などの有無を確認しています。いつもと様子が違うなど、気になる時は職員皆で共有しています。また、オムツ交換時や着替えの際にも身体の観察をしています。毎月の身体測定でカウプ指数を出して、栄養状態を確認しています。送迎時の保護者の様子にも注意し、表情が疲れていたり、元気がない時などは、普段以上にコミュニケーションを多くし、保護者に寄り添う姿勢で話を聞くようにし、保護者の精神面、生活面の援助をしています。マニュアルを整備し、職員研修も実施しています。</p>	

### A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	第三者評価結果
<p style="text-align: center;">A-3-(1)-①</p> <p>【A20】 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p>	
<p>月案、週案、年間保育指導計画で保育の振り返りを行っています。子どもの育ちをとらえる視点として「今月を終えてのこどもの姿」としての記載と、自らの保育をとらえる視点としての「自己評価」を記載しています。担任同士が日常的に話し合い、反省と課題をあげて、次の保育の実践に活かし、保育の質の向上を図っています。自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ちや意欲、取り組む過程に配慮しています。職員の自己評価を園全体の保育実践の自己評価に繋げています。年1回サンキューカードを職員同士で贈り合っています。「この先生のここがいいね」という、いいところ探しのカードを送ることで、他の職員の良いところを見つけられ、自分の良いところも気付くことが出来て、職員の成長に繋げています。</p>	